静岡県幼児教育の質向上を目指して

わっ！ぴょん通信



発行・編集　静岡県幼児教育センター

公私立合同 幼稚園等初任者研修で「幼保小の円滑な接続」について学びました

普段は公立・私立別に実施している初任者研修ですが、「幼保小の円滑な接続」をテーマに学ぶ会については、静岡県教育委員会と私立幼稚園・認定こども園振興協会が連携して実施しています。

研修では、「幼児教育の基本」を土台に、「幼保小の円滑な接続」について要領等から学び、さらに総合教育センター参事による「小学校生活科」などの講義を行いました。その後、日頃の保育で意識していきたいことについて公私立合同グループで協議をしました。

研修の最後には、各自が小学校訪問の視点をもち、９月から１月までの間に参観する地域の小学校訪問を楽しみにして帰途につきました。

小学校訪問で何を見てきたいですか？

・園での様々な経験が、小学校のどんな場面に繋がっているか
・こどもの興味・関心や意欲を引き出すための小学校の先生の声掛けや環境
・こどもがどのように試行錯誤をして何を学んでいるか
・友達同士の関わりに教師がどう関わっているのか
・こどもが学習に対して意欲的に取り組んでいるか
・こどもが自分の思いをどう表現、伝えているか
・教室や廊下の環境　　等

保育で意識していきたいことは？

・こどもが「〇〇してみたい」と思えるような声掛けや環境づくりをする
・こどもの興味や関心から、遊びを展開、継続できるような環境を構成する
・こどもの「やりたい」を実現する伴走者としての役割
・こどもと一緒に考えて経験していく

幼保小の円滑な接続に向けて

市町の取組紹介

今回は、御前崎市の取組を紹介します。

御前崎市

園と小をつなぐ架け橋　～「遊び込む」から「学び込む」へ～

御前崎市は、教育の担い手が『スクラム』を組み、「子ども観、教育観などの観の共有」を図り、「園・小・中・高校がとぎれない教育」の実現に向け、学び合いを行っています。

【園スクラム研究会　公開保育】



小・中学校の授業改善スーパーバイザーの指導を受け、園で培った力が小・中学校へ滑らかに繋がるよう、保育公開や研修を実施しています。園・小・中学校の職員が互いの教育を理解しながら、子どもを主語に、教師の援助・環境構成等について協議し合います。

【園・小の交流活動】





小学校区ごとに、園小の交流活動が行われています。子ども同士の交流の中で、園と小学校がそれぞれのねらいを共有することで、接続期の子どもの育ちや学びを互いに理解し合うことが、途切れない教育の促進に繋がっています。



【スクラム合同研修会】…園小中高の教職員が教育観を共有する。
園小連携グループは、小学校区に分かれ、今年度は、園小の接続について今までの取組を元に架け橋カリキュラムの作成に挑戦し始めました。

これらの取組により、「遊び込む子」から「学び込む子」へと育ちのバトンをしっかりとつなげ、子どもたちが安心して自分らしく輝いていけるよう、子どもたちの成長を支えていきたいと思います。

（御前崎市教育委員会　学校教育課）